学校番号	109

令和２年度　公民科

教科	公民	科目	政治経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高校政治・経済　新訂版　（実教出版社）						
副教材等	最新　政治・経済資料集　新版　（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

具体的な問題を取り上げ、その背景にある政治・経済面だけでなく地理・歴史的側面から、社会構造について認識を深めていけるように工夫します。授業前に、中学・現代社会の知識面は確認しておくようにしておいてください。
単元を知識のまとめとして教科書・資料集を活用し、単元間の関連性について学びます。特に、問題認識、解決に関しての小論文が書けるように、単元を横断した知識・理解ができるようにしましょう。
関連する新聞記事・視聴覚教材などを適宜取り入れ、現代社会の諸問題に対する想像力や感性を豊かにできるようにします。日ごろから新聞やニュースに関心を持ち、関連する知識、問題を意識するようにしましょう。

２　学習の到達目標

・民主主義の本質を理解し、広い視野から現代の政治・経済・国際関係について客観的に理解する力を身につける
・現代の政治・経済・国際関係などに関する諸課題を政治・経済的観点から考察することができる。
・国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代の社会と人間にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとする。	現代の社会と人間にかかわる事柄から課題を見いだし、社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	現代の社会と人間にかかわる事柄に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	現代の社会的事象と人間としての在り方生き方とにかかわる基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	レポート 定期考査 ワークノート	レポート 定期考査 ワークノート	定期考査 ワークノート	レポート 定期考査 ワークノート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	民主政治の基本原理	・民主政治の発展 ・法と政治 ・世界の政治体制 ・民主政治の混迷と課題	 ○ ○	○ ○	 ○ ○	 ○ ○ ○	a:日本と各国の政治体制を、歴史的背景を含め理解する。法と政治の関係について理解する。 b: 民主政治の課題について、現代の諸問題と関連付けて、国際関係、地理的、歴史的観点からも考察できるようにする。 c:政治と法の関係について理解する。様々な資料を確認する。 d: 民主政治の本質を歴史の流れの中から理解させ、世界のおもな政治体制の中にどう具体化されているかを考える。	定期考査 レポート ワークノート
	日本国憲法の基本的性格	・日本国憲法の成立 ・平和主義 ・基本的人権の保障 ・人権のひろがり	○ ○ ○	○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	a: 日本国憲法の成立過程を学びながら日本国憲法の平和主義、基本的人権の保障、国民主権などの内容が、どのような歴史的観点の上に築かれているかを確認する。 b: 日本国憲法の三大原理について学び、憲法の果たす役割と現代の課題について考えさせていく。 c:現代の諸問題と、憲法および人権の観点から理解を深める。 d:日本国憲法と近現代の歴史と社会諸制度と人権がどのように関係しているか考える。	定期考査 レポート ワークノート

	日本の政治機構	・立法 ・行政 ・司法 ・地方自治	○ ○ ○ ○	○ ○	 ○ ○ 	○ ○ ○ ○	a: 国会、内閣、裁判所、地方自治のしくみを学習し、諸課題との関係について確認する。 b: 民主主義がどのように実現されているか理解し、諸国の制度と比較し、今後の課題について考える。 c: 現代の諸問題と解決について、政治制度との関係について理解を深める。 d:国民の生活と、政治機構との関連から、公民的観点をはぐくむ。	定期考査 レポート ワークノート
	現代日本の政治	・戦後政治の歩み ・選挙制度と政党 ・政治参加と世論	○ ○	 ○	 ○ ○	○ ○ 	a:現代の政治制度がどのような歴史的背景から確立しているのか確認する。 b: 18 歳選挙権に向けた政治参加ができるよう、現代の政治制度・政党政治について考える。 c:政党政治と選挙制度を理解し、模擬選挙などを体験する。 d:国民の生活と、選挙、政治参加について理解を深める。	定期考査 レポート ワークノート
	現代の国際政治	・国際政治の特質と国際法 ・国際連合と国際協力 ・現代国際政治の動向 ・核兵器と軍縮 ・人種・民族問題 ・国際政治と日本	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	a:国際政治・国際連合と日本の関係について、歴史的背景、国際関係から理解を深める。 b:国際問題、ナショナリズムと人種・民族問題などを理解し、解決策についても模索する。 c:ナショナリズムや国際平和、軍縮など日本と各国の立場や歴史的背景を理解する。 d:国際的な諸問題について、日本と各国の歴史的・政治的・経済的な観点での知識を確認し国際連合の役割、国際協力について理解を深める。	定期考査 レポート ワークノート

2学期	現代経済のしくみ・経済社会の変容・世界経済と日本	・資本主義社会の変容 ・グローバル化と現代資本主義経済 ・市場機構 ・現代の企業 ・国民所得と経済成長 ・金融のしくみ ・財政の仕組み ・商品／資本の流れと国際収支 ・国際経済体制の変化 ・金融のグローバル化と金融危機 ・地域経済統合と新興国の台頭 ・経済協力と人間開発の課題	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:経済のグローバル化が進む現在と、資本主義の歴史的変容を確認する。東京証券取引所の取引学習システムを利用し、グローバル化している市場と経済、国際関係について関心をもつ。 b: 資本主義の歴史を学び資本主義経済の特徴を理解する。グローバル化する中で、日本と国際社会との関係について理解する。 c:市場のしくみ、国民所得、経済成長、金融のしくみ、財政の役割を調べる。 地域経済統合や金融危機など、グローバル化する諸問題について、問題認識と解決の糸口について理解する。 d: 経済主体の役割と市場経済や各種制度の役割を学習し、経済活動がどのように調整されているかを考え理解する。格差や人間開発の課題について理解する。	定期考査 レポート ワークノート
	現代社会と福祉の向上	・日本経済の歩み ・日本の中小企業と農業 ・国民の暮らし ・環境保全と公害防止 ・労使関係と労働条件の改善 ・社会保障の役割	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a:国民の暮らしと、経済との関連性について関心を持つ。経済発展と環境問題、労働問題について歴史的背景を確認、現代の諸問題について理解する。 b: 生活と密着している、中小企業と農業、労使関係などについて、その問題と解決について考える。 c:国民生活の諸問題について、問題提起と解決策についての提言などをレポート化できるようにする。 d:現代社会の諸問題について、その背景や制度との関係性、今後の発展について理解する。	定期考査 レポート ワークノート

3学期	現代社会の諸問題	・現代日本の政治や経済の諸課題 ・国際社会の政治や経済の諸課題	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a: 具体的な問題を取り上げ、基本的概念や理論の学習をふまえて、諸課題を理解し、解決法を考える。 b: 諸問題の理論的な争点を理解し考察する。 c:問題と解決の多面的かつ構造的理解を行うために、各種資料を検索し、信憑性を判断できるようにする。 d:諸問題に関して、各種制度や法的な知識や、歴史的な観点から理解を深める。	レポート ワークノート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。